

International Society of Sports Nutrition Conference 2015 に参加して

生命環境科学系 博士課程 1 年 野中雄大

この度「博士課程学生のための国際研究集会渡航助成」の支援を受けて、2015 年 6 月 11 日ー13 日にアメリカ合衆国テキサス州オースティンで行われた **International Society of Sports Nutrition 12th Annual Conference** に参加し、最新の研究成果の情報収集と、私の研究成果を発表した。本学会は、スポーツ栄養学における最新の知見を発表・議論することによって、科学的根拠に基づいたスポーツ栄養学の更なる発展を目指す国際的な学術集会である。



写真 1 学会会場の様子



写真 2 ポスター発表の様子

私は学会最終日の 3 日目に“**Differential effects of rapid or slow body weight loss on muscle weight and protein degradation pathways in rat skeletal muscle**”というタイトルでポスター発表を行った。本研究の主な成果は、体重階級制のアスリートがよく用いる「短期間に急激に体重を減少させる急速減量」を行った場合、「長期間にわたり緩やかに体重を減少させる緩徐減量」に比べて骨格筋のタンパク質分解機構が著しく活性化し、骨格筋重量および筋タンパク質量の減少を引き起こすことを明らかにした点である。発表時間中は沢山の研究者、スポーツトレーナーの方々が発表を見に来てくださり、深く議論することが出来た。またこの中で、修士号を持つボクシングの元世界チャンピオンで現在も現役で活躍している選手と交流する機会に恵まれ、世界トップ選手の減量方法や試合に向けた食事方法を聞くことが出来た。様々な国の研究者や現役のアスリート選手と意見交換ができたことで、新たな疑問点や発見があり、今後の研究の参考にすることが出来た。

今回が初めての国外学会への参加だったが、多くの国の研究者と交流し、今までに聞いたことのない栄養素やその機能といったスポーツ栄養学の最新の知見を学ぶことができ、非常に良い経験となった。広い視点を持ち、積極的に最新の知見を得ながら研究を遂行していくことが非常に重要であると考えているため、今回の学会で得た知見や考え方を活かし、今後の研究に役立てたい。